

丸岡ロータリークラブ会報

2012~2013 年度



国際ロータリー第 2 6 5 0 地区
河本英典ガバナー スローガン
『ロータリーの主役は個々のロータリアン』
(隔たりをなくそう)

Bridge the Gaps

丸岡ロータリークラブ会長フレーズ
楽進の人生・楽進のロータリー (楽しく・親切な笑顔)

会長 横山茂樹 幹事 野尻 昇

今週の例会予定 平成 2 5 年 2 月 2 7 日 (水) 第 1 6 9 9 回例会

- 【ロータリーソング】 『 R-O-T-A-R-Y 』
- 【委員会報告】 出席、ニコニコ箱、ロータリー財団、米山記念奨学会
- 【表彰】 ロータリー財団
- 【米山奨学金授与】 米山奨学生 鄭 卓雯さん (2月分)
- 【卓話】 外部卓話 李 恩姫様
『 私が日本に来て感じたこと 』

次回の例会予定 平成 2 5 年 3 月 6 日 (水) クラブフォーラム

2月6日に開催した家庭集会の発表会

ロータリー情報委員会

県内クラブ 例会日

月曜日

福井東 AOSSA 3F
敦賀 西サビ 敦賀
Pm7:00

火曜日

福井南 織協ビル 8F
勝山 市民活動センター
武生 武生商工会館
若狭 小浜商工会議所
福井カニカ 福井ガ 外福井 Pm6:30

水曜日

福井北 ホテルフタ福井
敦賀 北陸銀行敦賀支店
鯖江北 神明苑
丸岡 JA花咲ふく丸岡

木曜日

福井 ユアーズホテル
武生府中 JA 越前たけふ
福井水仙 福井パレスビル
Pm7:00

金曜日

福井西 バードグリーンホテル
三国 三国観光ホテル
大野 大野商工会議所
鯖江 鯖江商工会館 3F
あじさい リバージュアケボノ

- ① 携帯電話の電源を切るかマナーモードに
③ 中途退席の時は事前にSAAに申請して

② 居眠りは自粛

丸岡 RC 横山会長 挨拶

(2月20日分)



今日の卓話は福井大学医学部看護学科 教授 酒井明子様『途上国の現状について』をお願いしています。また、お客様は梶幸夫様 加賀 RC と三国 RC の佐孝昌彦様です。お寒い中、ようこそいらっしゃいました。

先週の土曜日、会長・幹事会が武生商工会議所にて行われ、出席してきました。内容については、後日報告をさせて頂きたいと思えます。

2月18日は暦の上では“雨水”といい、雪や氷が解けて水になる頃と言われますが、今日は非常に寒い日で、冬に逆戻りしたみたいです。最近日は長くなってきましたが、1月1日の日の出は7時6分でした。18日は6時39分で日の出が45分早くなっています。日の入りも1月1日は16時52分、18日は17時40分と58分遅くなっています。日の出も日の入りも夫々1日1分ずつ変化しているようです。日の出は6月5日で4時38分になり以後遅くなってきます。日の入りも5月20日で19時6分になり以後早くなってきます。時間的に春が近づいてきたかなと思います。

幹事報告 野尻幹事

2月26日 来簡分まで

会長・幹事会のホストの武生府中 RC より、新世代奉仕委員会の事業で、高橋尚子の「チームQ ランニングクリニック」を開催するポスターをいただきました。

★ 来簡

- ※ DVD ソフト「田中作次物語」の拝受
- ※ 財団テキスト「わたし達のロータリー-財団」5冊 拝受
- ※ タイ国 ドゥアン プラティーブ 財団理事長 ドクター サン ハワイット氏より中古自転車寄贈のよりお礼状
- ※ 武生府中 RC より会長・幹事会出席のお礼状
- ※ 坂本克也がパナエレクトより
次年度 RI 会長 ロンド. パートン氏
テーマ：“ロータリーを实践し みんな豊かな人生を”
次年度地区がパナ 坂本克也氏
テーマ：“あなたの善から、みんなの善へ”

ビクター受付のみ (12:00~12:30)		
福井 RC	木	3/14
福井西 RC	金	4/12
福井南 RC	火	3/19、4/9、5/28
福井あじさい RC	金	3/1
福井東 RC	月	3/11 (事務局にて)
三国 RC	金	3/8
武生 RC	火	3/19、26
武生府中 RC	木	2/28、4/4、11
鯖江 RC	金	3/15 (商工会館)
鯖江北 RC	水	3/6
若狭 RC	火	3/5
ビクター受付のみ (18:00~18:30)		
福井フェニックス RC	火	4/9

委員会報告

2月20日(水)分

林田(千) 国際奉仕委員長

2月25日に中古自転車を輸出する準備をいたします。多くの方のご協力をお願い致します。場所は東角会員の女形谷工場です。これで作業は終わりです。

東角国際奉仕委員

今回の送り先はタイ国のドゥアン プラティーブ財団とは懇意にさせて頂いていますので、そちらに決めました。現在タイも目覚ましく発展していますが、中心より一歩出ますとスラム街が広がっています。スラム街に住むとなかなか脱却することが出来ないものです。ドゥアン プラティーブ財団は教育が大切と、スラムに住む子供達を中心に、生活その他を立ち直らせるよう援助し、学校を建てたりしています。タイでは有名な財団です。自転車はミャンマー国境付近などの辺境地で、学校に通うのが困難な地域に送られる予定です。



途上国の現状について（ハイチ地震）

福井大学医学部看護学科

教授 酒井明子様



2010年1月12日現地時間16:53に起こった、首都直撃のハイチ地震。M7.0で行政・経済は完全に崩壊し、死者23万人・負傷者30万人。しかし、もともと正確な把握が全くなされていず、詳細は分からないと云うべきだろう。

背景に貧困で無秩序な都市化が進んでいたこともあり、被害が必要以上に拡大した。

地震発生から2カ月後の3月にハイチ入りした。首都ポルトープランスの空港に降り立ったが、建物は何も無く、直接地面にばらばらになった荷物が届けられるという状態だった。

ハイチはフランスより独立し、公用語は現地語であるクレオール語とフランス語。宗教はキリスト教で識

字率50%以下、子供の40%は学校へ行けずまた学校の教材も不足している。国土の75%は山地で日中は高温だが寒暖の差は大きい。平均寿命は49.1歳。

確かにこの地震で行政・経済は壊滅的被害を受けたが、元々極度の貧困状態（食物も家も何も無い）で、問題なのは秩序の崩壊と治安の悪化。生活費は1日1ドル以下という貧困の中。親はその日1日を生き延びる事しか考えられない日々を送り、勿論子供も同様。従って、ハイチには「自殺という発想」が存在しない。そのような貧困の中を生き抜いてきた為だろう、1週間がれきの中に閉じ込められていた少女が、無事助け出されたというニュースもあった。

ポルトープランスから車で5～6時間のレオガンと云う所が活動の拠点だった。瓦礫の撤去など殆ど進んでおらず、建物は木造の教会の一部が残っているのみ。他は粉々に崩れていた。多くの死体が葬られず山積み放置されていた。人々は避難所のテントの中で密集して眠り、一部ははみ出している有様だった。テントの周りで用を足し、雨が降ると不潔な泥の中で眠る状態。家族に割り当てられる水は1日ポリバケツ一杯。それで1日1回の食事を造り、洗濯をし、洗濯の残り水で体を拭く。悲惨な環境の中なのに人々の中には悲壮感がなく、子供たちは楽しそうに遊んでいた。

以後の活動が継続されるよう、現地医師と看護師を中心に医療活動を行った。また、現地人だからこそ患者の状態把握が迅速に行われた。マラリヤ・腸チフス・赤痢・性感染症などの診断などが目立ち、訴える症状には不安・不眠・空腹・発熱などが多かった。実際には動かせない人が多く、テントを一つ一つ廻って患者を探し出して来なければならなかった。栄養失調・四肢の壊死・広範囲熱傷など重症者も多かったが、患者たちは明るく「死ぬ時が来たら死ねばいいさ」というかんじだった。

支援活動の周りには危険も多く、常時銃を携帯したボディーガードが必要だった。

このように、ハイチの状況、行なった支援の様子を話された後、人道支援とそのあり方について触れ、支援時の要点（地域住民とのコミュニケーション・衛生観念等）として、地域住民の視点に立つて行うことが重要と強調して話を終えられた。



- 人道支援活動を行うことは**人生そのものに似ています**。失敗や課題を経験すればするほど、人は成長し、有能で尊敬される強い人になります。共感することができるようになればなるほど、他人のことが理解できるようになり、社会で生きていける力が強くなります。
- 私たちの仕事は、さまざまな問題を理解し、その解決策を見つけることです。さらに、ハイチの人たちと共に生活することであり、**出会う人々に共感し、教育や文化を理解すること**です。こうすることで、私たちのプログラムが彼らのニーズにより適したものになるのです。さらに、困難や失敗に直面しそれらに立ち向かうことも、私たちの仕事だと思っています。
- チームが持つあらゆる能力**が、成功のツールとなります。そして、**透明性**は私たちの最高の協力者となり得るのです。
- ハイチのように、安全が脅かされ、犯罪のターゲットになることが起こりがちな国では、**現地住民からの支持を得る戦略**を立てることが有効です。住民からの支持は与えられるものではなく、日々の生活や私たちが支援活動を行なうコミュニティとの間のネットワークを通して得られるものです。

委員会報告

2月20日(水)分

出席委員会

会員数	出席	届有欠	届無欠	メーキャップ	出席率
38	33	3	1	1	89.47%

【ビジター】 加賀RC 梶幸夫、三国RC 佐孝昌彦

【メーキャップ】 東角 2/22鯖江RC、下田 2/22福井西RC

ロータリー財団委員会 (入会順・敬称略)

中島、釣部、下田、中田、奥村、横山、高尾、倉本、高山、水崎、杉本

表彰 マルアップルホールハリスフェロー 下村晴夫(1回目)

本日	14,000円
累計	489,000円
前年	596,000円

米山記念奨学委員会 (入会順・敬称略)

中島、釣部、下田、中田、奥村、横山、高尾、倉本、高山、水崎、杉本

本日	14,000円
累計	515,000円
前年	669,000円

ニコニコ箱委員会 (入会順/敬称略)

チョット一言

横山会長・福井大学医学部教授 酒井明子様、本日は卓話ありがとうございます。

ビジターの方、ようこそおいで下さいました。

野尻幹事・酒井先生、本日卓話ありがとうございます。

又、ビジターの皆様、ようこそ丸岡クラブへ

本日	33,000円
累計	1,191,000円
前年	1,383,000円

梶幸夫様 (加賀 RC) …お世話になります。

佐孝昌彦様 (三国 RC) …皆さん、久しぶりです。

東角…酒井先生、今日はよろしくお願ひ致します。

倉本…また、雪が降ってきましたね。寒いです。

林田(千)…25日の自転車の搬入、御協力よろしくお願ひ致します。酒井先生今日はありがとうございます。

水崎…先週の池田会員のロータリーの友解説面白く聞かせて頂きました。長年のキャリアに敬服しました。

★ このほか、下記の方からも、ニコニコ箱に寄付を頂きました。

釣部、下田、藤本、中田、奥村、高嶋、山下、高尾、高山、山本、高倉、杉本



丸岡ロータリークラブ

会員数：38名 例会場：JA花咲ふくい丸岡支店3F 例会日：毎週水曜日12時30分

事務局：〒910-0253 福井県坂井市丸岡町一本田中34-2 (株)坂井商事内

TEL 0776-67-0410 FAX 0776-67-4811 E-mail webmaster@maruoka-rotary.com

クラブ広報委員会 委員長—林田数一 会報委員会 委員長—金 定基 副委員長—高尾 誠

委員—山本雅人・高倉文寛・杉本政昭